

## 新団体の全日本テコンドー連盟、国技院と協定締結

[2015年7月19日21時13分]

全日本テコンドー連盟が19日、熊本市内で記者会見を開き、テコンドーの総本山である韓国の国技院と昇段などに関する基本協定を5月に結んだことを報告した。競技の普及や指導者の育成を目指す。

国技院の関係者と並んで会見した武田正博理事長は、協定を受けて「停滞していた会員数を増やしていきたい。武道としての価値を高めていく」と意気込んだ。全日本連盟は、日本オリンピック委員会（JOC）に加盟する全日本協会と対立する勢力が昨年設立した

### テコンドー普及で 国技院と協定締結 全日本連盟

全日本テコンドー連盟は19日、熊本市で会見を開き、流派の総本山である国技院（韓国）と競技普及に向けた連携強化などをうたった基本協定を結んだことを発表した。全日本連盟は日本オリンピック委員会（JOC）に加盟する全日本協会と分裂状態にある。基本協定は指導者育成や昇段などに関する協力を確認しており、5月19日に締結。樋口悦夫常務理事は「指導者のレベルアップを図り、テコンドーを取り巻く環境を改善



協定書を手にする国技院のオ・ヒョンドク副院長（左）と全日本連盟の武田正博理事長＝熊本市

したい」と述べた。武道としての普及に力を入れる国技院は現在、各国の競技団体などと協定締結を進めている。同院のオ・ヒョンドク副院長は「連盟の主旨に賛同し、テコンドーの発展のために最適と判断した」と説明した。流派の異なる全日本連

盟と日本国際連盟との基本交流協定の締結も行われ、柳逸男・日本国際連盟会長は「垣根を越えて交流を深め、共に競技普及と発展を目指したい」と抱負を語った。熊本県協会の創立30周年記念祝賀会もあり、才副院長ら約200人が出席した。（坂本尚志）